

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2016年7月11日に不適合管理会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
なお、不適合管理会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	補助建屋フロンガス検知器の点検時、検出器サンプル配管に微量の空気の流入を確認した。当該配管を修理。	
2	2号機	主タービン油冷却器(A)水室ドレン弁のシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
3	2号機	原子炉区域排気処理装置(C)の点検時、排気フィルタに傷を確認した。当該フィルタを交換。	
4	2号機	中央制御室換気空調系給気処理装置(A)の給気フィルタに破れを確認した。当該フィルタを交換。	
5	4号機	不活性ガス処理系の漏えい検出系放射線モニタ入口弁に動作不良を確認した。当該弁を点検・修理。	
6	6号機	見学者通路用エアコン室外機に腐食を確認した。当該室外機を点検・修理。	